

プログラム

9:30 開会挨拶

実行委員長 東 伸昭 (星薬科大)

9:33 ~ 12:16

一般口演

一般口演 I

座長: 原 俊太郎 (昭和医科大薬)、鴨志田 剛 (明治薬大)

A1 ○中村 真男

((公財)佐々木研究所 附属佐々木研究所)

糖鎖切断を介した抗原マスキング解除による抗体医薬機能増強の検討

A2 ○山口 憲孝^{1,2}、高倉 勇氣^{1,2}、秋山 伸子²、高野 博之¹、秋山 泰身²

(¹千葉大院薬・分子心血管薬理学、²理研 IMS)

ミトコンドリアタンパク質 C15ORF48 による胸腺オートファジーを介した免疫寛容形成

A3* ○櫻井 寛人¹、中條 紗喜¹、星谷 美桜¹、米野 雅大¹、宮田 真路²、戸井田 敏彦³、東 恭平¹

(¹東京理大薬・病態分析化学、²東京農工大農、³千葉大予医セ)

脳梗塞慢性期に形成されたグリア瘢痕のグリコサミノグリカン解析

A4* ○七五三掛 桃¹、櫻井 寛人²、米野 雅大²、佐藤 一樹²、佐藤 聡²、和田 猛²、東 伸昭³、穂山 浩³、戸井田 敏彦⁴、東 恭平²

(¹東京理大院薬・病態分析化学、²東京理大薬、³星薬科大、⁴千葉大予医セ)

過硫酸化グリコサミノグリカンの調製と構造活性相関

A5* ○金子 耕輔¹、篠崎 優衣¹、岡田 千佳¹、齊藤 涼¹、田端 慶斗¹、齋藤 凜佳¹、横山 公紀¹、今 理紗子¹、酒井 寛泰²、細江 智夫¹、五十嵐 信智¹

(¹星薬科大・生体分子薬理学、²星薬科大・毒性学)

乳酸菌発酵液「ホエイ」による免疫活性化作用の検討

A6* ○浅見 賢音、鴨志田 剛、伊藤 匠凜、北村 光、沖 啓太、熊倉 和希、佐藤 伶華、加屋 優希、山口 大貴、森田 雄二

(明治薬科大・感染制御学)

Acinetobacter baumannii のコリスチン耐性株の出現頻度と耐性メカニズム評価系の構築

A7* ○伊東 諒¹、平田 祐介¹、野口 拓也^{1,2}、松沢 厚¹

(¹東北大院薬・衛生化学、²岩手医大薬・臨床医化学)

ストレス応答性アミノ酸トランスポーターSLC7A11 による酸化ストレス誘導性パータナトス促進機構の解明

[10:50~11:00 休憩]

一般口演 II

座長: 板部洋之(昭和医科大薬)、山下 純(帝京大薬)

- A8* ○宮坂 安菜、冨塚 祐希、桑田 浩、原 俊太郎
(昭和医科大薬・衛生薬学)
長鎖アシル CoA 合成酵素 4 欠損に伴う高度不飽和脂肪酸代謝の変化が薬剤誘発性肺線維症に与える影響の解析
- A9* ○東 英里佳、依田 恵美子、原 俊太郎
(昭和医科大薬・衛生薬学)
膜結合型 Ca²⁺非依存性ホスホリパーゼ A2 γ (iPLA2 γ) 欠損マウスで認められる雌性生殖異常の解析
- A10* ○松村 裕菜、依田 恵美子、原 俊太郎
(昭和医科大薬・衛生薬学)
抗がん剤イリノテカンによる消化管毒性における膜結合型プロスタグランジン E 合成酵素 (mPGES)-1 の機能の解明
- A11* ○今井 将嗣¹、平本 恵一²、大井 一弥^{1,2}
(¹鈴鹿医療科学大院薬・臨床薬理学、²鈴鹿医療科学大薬)
イリノテカン投与による足底部特異的な色素沈着のメカニズム解明
- A12* ○高垣 拓真¹、高木 祐吾¹、岸 貴之²、近江 純平¹、青木 淳賢¹
(¹東大院薬・衛生化学、²東大院薬・分子細胞生化学)
酸化リン脂質による新規癢痒メカニズムの解析
- A13 ○水野 晃治、楠木 萌来、奥山 勝揮、小岩井 利一、佐藤 隆
(東京薬科大薬・生化学)
ヒト皮膚表皮角化細胞におけるアドレナリンによる細胞分化促進機構
- A14 ○粟屋 昭
(皮膚科学疫学研究所)
花粉被曝が trigger で川崎病、指定難病 40 疾患、がん・悪性腫瘍 24 種が発症するであろう普遍的な生命現象の発見につながった、2002 年の「花粉症抵抗性・花粉症感受性とほくろの多・無との link」現象への気づき

(注: * は学生による発表)

12:16 ~ 13:30

昼食・世話人会